

友朋会理念 『患者さんのために』



「表紙のひと」訪問看護ステーション「まごころ」の皆さん

contents

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 目次 | 5 クリニック関連記事 |
| 2 創立記念式典、入社式 | 6 地域連携室通信 |
| 3 風だより編纂記 | 7 朋寿苑だより |
| 4 精神保健福祉協会長表彰・NEW FACE | 8 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表 |

令和3年度 入社式

4月1日(木)に入社式を行いました。看護師などを含めて、学校を卒業して初めて就職する20名が出席し、理事長から新入職員一人一人へ配属辞令が交付されました。新入職員の皆さんには、自己紹介と今日から働き始める率直な気持ちなどを発表してもらいました。



創立55周年・56周年記念式典

4月3日(土)に56周年創立記念式典を行いました。昨年度は実施できなかったため55周年も合わせて行い、長年勤務された職員の皆さんを理事長から表彰していただきました。会場の大ホールには幹部職員と30年勤続者、20年勤続・10年勤続の代表者、新入職員が集まり、職員のみで実施いたしました。一般の職員は所属部署のパソコンに映し出されるライブ映像で、式典の様子を視聴いたしました。

30年勤続15名(本年度 8名、昨年度 7名)
 20年勤続39名(本年度24名 昨年度15名)
 10年勤続43名(本年度21名 昨年度22名)



『風だより』を振り返って

今回、当会広報誌『風だより100号』を発行するにあたり、編集委員より広報誌の生い立ち等について教えてほしいという依頼があり、その当時を改めて振り返って見る機会を得ました。

そもそも今でこそ友朋会の広報誌として地域や関連職種の皆様に季刊誌として拝読していただいている『風だより』ですが、四十年前の創刊当時は『友朋会だより』として主に院内職員向けの互助会報の要素が強かったように思い出されます。

当時の紙面を四十年振りに改めてのぞくと、創設理事長をはじめとした幹部のわかりやすい経営方針や教育指針等の記事に加え、やはり職員の異動や慶弔、意見発表など、身近な情報がぎっしりと詰まっています。当時、成長期の真っ只中の友朋会を、失せかけていた僕の白髪混じりの記憶の中から鮮明に呼び覚ましてくれました。とてもアットホームで暖かい、手作りの新聞の風味を今でも醸し出しています。

初版はガリ版刷り、今は高度に進化した容易に記事の配置や編集、写真挿入等ができる専用ソフトでの効率よい作業。見栄え、出来映えは雲泥の差ですが、内容についてはいかがでしょうか。

現在は、社外向けの広報誌で一様に比較することはできません。しかし、現在の『風だより』は、『友朋会だより』を更に進化させようと初版発行(昭和五十九年七月)より数年後に職員の公募を経て改名し、現在の形に至っています。

創設理事長が、友朋会二十周年記念式典で挨拶された中での言葉が残っています。「今までのものは終わったわけではなく、それを土台にしながら、二十一世紀へ向かって我々の夢を託して果敢にチャレンジしていくべきだと思います。」(友朋会だよりNo.4より)

まさに『風だより』も紆余曲折して現在の形へと進化してきたのです。途中、存続の危機もありました。記事が集まらず、編集会議にも数人の委員しか集まらず、編纂できないこともしばしば。内容もマンネリ化しかけたことも。それでも、細々ながら意地でもどうにか続けたことで、現在の友朋会の広報誌『風だより』の地位を確立していただくことができたと思います。

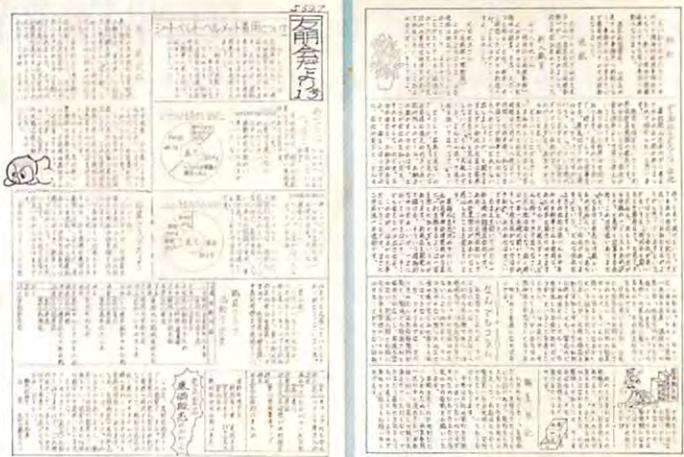
まさしく“継続は力なり”です。

今後も時代や社会状況に応じて『風だより』は柔軟に変化していくものと思います。また新しいニーズに呼応し進化し続けねばなりません。

今も昔も変わらない新聞作りの難しさは、肝心の記事が中々集まらないことです。やはり広報紙といえども記事あってのものです。特に、医療や介護・福祉等に関する専門知識や情報等の地域への提供・還元は、当会の責務で、『風だより』もその役目を担っています。

職員の皆様、記事の寄稿や情報提供等のご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

言語聴覚科/馬場 薫



記念すべき第1号



令和2年度

精神保健福祉事業功労者表彰式

令和2年11月24日(火)に佐賀県庁において令和2年度「精神保健福祉事業功労者表彰式」が行われました。

式典には、厚生労働大臣表彰の精神科の先生1名、知事感謝状受賞された先生1名と今年度精神保健福祉協会長を受賞した17施設からの17名の受賞でした。

私は、昭和54年2月より勤務させていただいています。看護師資格を取得し、これまでの社会復帰病棟やデイケアでの勤務時には、社会復帰に向けて取り組まれている方に携わる機会が沢山ありました。退院支援や就労支援、地域生活支援などの社会復帰に向けた取り組みに対しては、具体的な計画を立案、事前の準備を行い実施してきました。

このような支援は決して一人ではできることではなく、チームで取り組むことが醍醐味でもあり、真髄でもあります。

支援をさせていただく方へ関心を注ぎ、一緒に支援に取り組む仲間を信じて、今後も精進を重ね取り組んで参ります。

この度の精神保健福祉事業者功労者に推薦につきまして理事長はじめ上司の方々に深く感謝申し上げます。この度は本当に有難うございました。



看護部 副部長 本山 信



NEW FACE 😊 新Dr.の紹介



すえ こうじ
末 浩司 先生

本年(令和3年)2月より南病棟1階に勤務しております。九州大学病院、飯塚病院で小児外科医として約40年仕事をしてきましたが、突然の病に倒れ、自身の治療も含め、その後は、リハビリ医として筑豊の中小病院で働いてきました。今回紹介で嬉野温泉病院に勤務させていただくことになりました。精神科は未知の領域ですが、もう一度医師として初心にもどり勉強しようと、内心わくわくしているというのが本音です。



とりやま こうじ
鳥山 浩二 先生

令和3年4月より内科医師として赴任した鳥山といいます。ももとの専門は泌尿器科ですが、この20年くらいは療養病床で働いているので、大抵のことには対応できていると思っています。出身は長崎市で、長崎大学卒です。高校では弓道、大学ではラグビー、40歳から硬式テニスをやっています。人としゃべるのが好きですので、積極的に絡んでいただくと嬉しいです。今後ともよろしくお願ひします。



さけむら ゆうた
酒村 勇太 先生

この度、嬉野温泉病院の精神科医として着任しました。
患者さんを支え地域に根付く医療を行えるよう、多職種連携、近隣機関との連携を密に、安心安全な医療を行って参ります。「ひとりひとりの患者さんのために」を念頭に、地域の皆様に貢献できますように微力ながら頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

ものわすれメンタルクリニック

ものわすれメンタルクリニックは、認知症高齢者のトータルケアを実践しています。今回は、診療部門(もの忘れ外来)、デイケア部門(アトリハ)、デイサービス・住宅型有料老人ホーム、居宅介護支援事業所をご紹介します。

今回は、アトリハを利用されたご家族より頂いた「アトリハを3か月間利用して変化があったこと」をご紹介します。

・一日中家に居た頃に比べ規則正しい生活が送れるようになり、落ち着いています。
(87歳 女性 週に3回利用 陶芸作品)



・デイケアに行くようになり、少し生活のハリがでたように思います。また、同居家族にとっても自分の時間が多少持てるようになり、リフレッシュできるようになりました。
(70歳 男性 週に3回利用 絵画作品)



・朝は時間通りに起きられるようになりました。夜は早く寝るようになりました。しかし、入浴のリズムはできていません。夕食の時間が早くなりました。

(71歳 女性 週に3回利用)

・予定の日を楽しみにしているのがわかります。家族が立ち会わなくても自分で時間通りに行くことで自分の生活の中で「通院」感覚で自分のこととして取り組んでいるようです。こちらも助かっています。

(83歳 女性 週に2回利用)

・大きな変化はありませんが、物忘れは少しずつ進行しているようです。デイケアに楽しんで行ってくれるので助かります。デイケアで絵画活動に参加していますが、家での絵の題材探しに困ります。デイケアで考えなさいと話しますが、探す時間をもったいないと言います。

(78歳 女性 週に2回利用)

以上、数名の方の「デイケア利用後の変化について」のコメントをご紹介します。様々なメリットやデメリットなどありましたが、外へ出て規則正しい生活を目指すことは重要であるとあらためて感じました。

介護老人保健施設

朋寿苑

TEL0954-42-2900・FAX0954-42-2907



医療法人財団 友朋会の介護老人保健施設 朋寿苑では、家庭的な雰囲気と利用者さまの個性尊重を第一に、きめ細かなケアプランにそった介護と多彩な生活機能訓練によって、家族復帰を目指しています。朋寿苑は、毎月様々な行事を開催しており、ここでは令和2年9月～令和2年11月に開催しました行事の一部をご紹介します。

敬老会



敬老会のイベントで、ご長寿のお祝いや、音楽をかけながら、職員が踊りを披露しました。当苑に勤務するミャンマー出身のスタッフを中心となって、ミャンマーの踊りを披露しましたが、利用者さまも手拍子やリズムを取りながら楽しみました！

焼き芋会



10月は敷地の外で焼き芋会をしました。職員が枯葉等で火をおこし、利用者さまの目の前で焼くところから楽しんで頂きました。「なつかしかね～」「おしかね～」などとても美味しそうに食べられました。昔を懐かしめる機会となったみたいで、職員も一緒に楽しみました。

牛の張り子



芸術療法士を中心にスタッフと利用者さんと今年干支の丑にちなんで、牛の張り子を作成しました。粘土で型を作り、障子紙や和紙を貼りつけ、鮮やかな色使いでめでたい作品に仕上がりました。作品は一つ一つ手作業なので同じものは一つもなく個性あふれた、なんとも可愛い作品となり、苑内に飾っています。

園芸



園芸ではプランターを準備して、花を植えました。職員が作業の説明や段取りを伝えますが、さすがは経験者！説明などなくとも手際よく花を植えていられました。作業中はおしゃべりもせず、一生懸命に取り組まれました。

友朋会理念 『患者さんのために』

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

外来診療担当医

【診療時間】

午前8時30分から午後5時まで
(第1土曜は午後12時30分まで)
外来診療は予約制になっております。
事前に連絡をお願いいたします。

【休診日】

日曜日、第2・3・4・5土曜
年末年始(12月30日～1月3日)

【診察時間】

当院では待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

急患の場合は随時受け付けます。

新患：原則、月曜日から金曜日までの

午前中(予約制)

再来：主治医と個別に日程調整します

(完全予約制)

可能な範囲で時間調整は致しますので、
まずご相談下さい。

診療科		月	火	水	木	金	土 (第1土曜のみ)	備考
精神科	再来	富松松尾	奥田中前田	吉本中山	中山	三根菅高渡邊	日直医	
	新患	午前	吉本前田	渡邊松尾吉本	渡邊・光吉菅高・田中	田中・松尾奥・前田	奥富松松尾	
		午後	中山	中山			三根	
	ものわすれ、児童思春期、うつ病などの専門外来をご希望の方はスタッフまでご相談ください。							
内科			竹下	岡本	林原河部	鳥山	東日勤医	
泌尿器科		倉富	江原	倉富	江原	倉富	倉富	午後は事前連絡
眼科		崎戸 (13時～)		崎戸 (10時～)		崎戸 (10時～)		(月) 午後13:00～17:00 (水・金) 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00

R3.7

医療法人財団 友朋会

〒843-0301

佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919

電話：0954-43-0157

FAX：0954-43-3440

E-mail: info@yuhokai.com

URL: http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 朋寿苑 通所リハビリ 0954-43-0233
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目15-28